

## 第6回 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会議事要録

日 時 平成25年3月12日(火) 10時00分～11時40分

場 所 東京工業大学すずかけ台キャンパス R3棟1階会議室

出席者 佐藤 誠, 坂井悦郎, 佐々木高義, 川合眞紀,  
岡本達雄, 勝俣英雄, 澤岡 昭の各委員

所内説明者 林 静雄(応用セラミックス研究所長)  
笠井 和彦(共同利用・研究支援室長, 建築物理研究センター長)  
川路 均(安全管理支援室長)  
細野 秀雄(セキュアマテリアル研究センター長)

### 配付資料

- 別紙1. 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会規程
- 別紙2. 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会委員名簿
- 別紙3. 第5回東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会議事要録(案)
  - 1-1. 平成24年度応用セラミックス研究所教員人事について  
(平成24年10月～平成25年4月【予定】)
  - 1-2. 応用セラミックス研究所教員組織(平成25年3月1日現在)
  - 2-1. 平成24年度応用セラミックス研究所「受託研究」等一覧
  - 2-2. 平成24年度応用セラミックス研究所「民間等との共同研究」受入一覧
  - 2-3. 平成24年度応用セラミックス研究所「その他の機関との共同研究」受入一覧
  - 2-4. 外部資金受入状況について(平成20年度～平成24年度)
  - 3-1. 平成24年度共同利用研究利用者データ及び出張状況について
  - 3-2. 平成24年度共同利用研究応募状況
  - 3-3. 平成25年度概算要求事項概要(先端無機材料共同研究拠点の形成)
  - 4-1. 国際会議・シンポジウム開催状況, ワークショップ・報告会開催状況
  - 4-2. 講演会開催状況
    - 5. 平成24年度学術講演講師
  - 6-1. 応用セラミックス研究所受賞者一覧
  - 6-2. 2012年パブリシティ
  - 6-3. 研究成果が新聞・テレビなどへ取り上げられた件数の推移
  - 7. 応用セラミックス研究所「産業財産権調査表」
  - 8. セキュアマテリアル研究センター活動報告(平成24年3月～平成25年2月)
  - 9. 建築物理研究センター活動報告(平成24年10月～平成25年3月)
- 10-1. 全国共同利用附置研究所連携事業「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」の活動報告
- 10-2. 平成25年度概算要求事項概要(特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト)

### 席上配布資料

- News Letter No.29
- 材料ユビキタス元素協同戦略研究成果報告書

### 回覧資料

- 10CUEE CONFERENCE PROCEEDINGS Volume1
- 10CUEE CONFERENCE PROCEEDINGS Volume2

## 定足数の確認

運営委員総数13名、公務欠席6名、定足基準数7名、定足数4名、出席者7名で成立

## 議事要録の確認

議長から、前回議事要録（案）について説明があり、これを承認した。

## 議 題

### 1. 教員人事について

林所長から、資料1-1～2に基づき、平成24年10月以降の応用セラミックス研究所の教員人事、及び転出者、退職予定者について説明があった。また、元素戦略研究センターの3名の教員を応用セラミックス研究所で協力研究部門をつくり、協力研究部門教員として受け入れる予定である旨の補足説明があった後、質疑応答が行われた。

### 2. 受託研究及び民間等との共同研究等の受入状況について

林所長から、資料2-1～4に基づき、受託研究及び民間等との共同研究、その他外部資金の獲得状況、平成20年度からの5年間の推移について説明があり、昨年と比較して特に大きな金額の差がある事項について補足説明があった後、質疑応答が行われた。

### 3. 共同利用・共同研究拠点について

笠井共同利用・研究支援室長から、資料3-1～2に基づき、平成24年度共同利用研究利用者データ、平成25年度共同利用応募状況・採択結果及び、共同利用研究のアンケート結果の概要等の説明があり、引き続き、林所長から、資料3-3に基づき、平成25年度概算要求の運営費交付金の内示額等について説明の後、共同利用研究の採択にあたっての審査方法等について、質疑応答が行われた。

### 4. 講演会・シンポジウムについて

林所長から、資料4-1～2に基づき、国際会議・シンポジウム、ワークショップ・報告会、及び講演会の開催状況について説明の後、質疑応答が行われた。

### 5. 学術講演講師について

林所長から、資料5に基づき、応用セラミックス研究所、セキュアマテリアル研究センター、建築物理研究センターの学術講演講師について、説明があった後、建築物理研究センターの講演内容の傾向について質疑応答が行われた。

### 6. 研究成果等の社会広報について

林所長から、資料6-1～3に基づき、教職員、研究員及び学生の受賞状況、研究成果が新聞・テレビなどへ取り上げられた件数の推移等について説明の後、質疑応答が行われた。

### 7. 産業財産権について

林所長から、資料7に基づき、学内全体と比較した応用セラミックス研究所の特許出願件数、登録件数、実施料金収入等について説明の後、共同研究における知的財産の取扱い等について、質疑応答が行われた。

### 8. セキュアマテリアル研究センター活動報告について

細野センター長から、資料8及び席上配付資料に基づき、同センターの設置された経緯及び平成24年度の活動報告の後、同センターの時限後の対応等について質疑応答が行われた。

### 9. 建築物理研究センター活動報告について

笠井センター長から、資料9に基づき、同センターの構成員及び平成24年度の講演会、シンポジウム等の活動報告の後、質疑応答が行われた。

10. 全国共同利用附置研究所連携事業「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」の活動状況について  
林所長から、10-1～2に基づき、平成24年度のプロジェクトの活動報告及び平成25年度概算要求の運営費交付金の内示額等について説明の後、質疑応答が行われた。
11. 研究所の改組について  
林所長から、昨年9月の運営委員会で説明した、建築物理研究センターを「建築防災システム研究所」に改組する案について、審議機関である統合研究院で審議を行ったが、大学全体での改組を検討しているため、一部局だけ先行して改組することはできないという結論に達した旨の説明の後、質疑応答が行われた。
12. 教員の任期について  
林所長から、平成25年4月1日の改正労働契約法の施行にあたり、応用セラミックス研究所では、准教授・講師・助教について、「任期5年、審査を経て停年制に移行する」ことに決定した旨、説明の後、質疑応答が行われた。
13. 応用セラミックス研究所長の交代について  
林所長から、林所長が平成25年3月31日付で停年退職の予定のため、次期所長として、伊藤満教授が選出された旨、報告があった。
14. 次回開催予定について  
澤岡議長から、次回開催予定については、平成25年9月の第1・2週を目処に、後日メールにて日程調整を行う旨、説明があった。

以上